

令和5年度日本植物病理学会大会 講演発表番号一覧

番号	発表者	所属	演題名	座長	座長所属
●は「学生優秀発表賞」応募者					
01_菌類病 (Fungal diseases) 01_分類・同定 (Identification)					
1	澤岬 哲也	沖縄県農業研究センター	沖縄県のマンゴーから分離されたColletotrichum acutatum種複合体菌株の同定と諸特性	埋橋 志穂美	農研機構
2	森脇 文治	九州沖縄農業研究センター	国内で収集したアスパラガス茎枯病菌のnit変異株(硝酸塩利用能欠損株)を用いた菌系和合性による類別(VCG)	埋橋 志穂美	農研機構
3	月居 佳史	農研機構	Diaporthe amygdali種複合体の宿主範囲に関する調査	埋橋 志穂美	農研機構
4	大場 淳司	宮城県病害虫防除所	宮城県で発生したFusarium lactisによる完熟ピーマン(パプリカ)果実腐敗病とその病原性	埋橋 志穂美	農研機構
●5	柴田 紗帆	法政大学	コマツツジとシロヤシオに発生したツツジ類裏もち病	久保 周子	千葉県農林総合研究センター
●6	宇田 宙生	三重大学	2種の病害に関与する複数種のCercospora属菌とPseudocercospora属菌	久保 周子	千葉県農林総合研究センター
●7	加藤 誠司	法政大学	Phoma 様菌類によるミシマサイコとジオウの斑点病(新称)	久保 周子	千葉県農林総合研究センター
●8	渡邊 麻衣	岐阜大学	トマト固形培地栽培で発生したトマト根腐病を引き起こす Aphanomyces cladogamus (病原追加)	久保 周子	千葉県農林総合研究センター
9	小島 一輝	岐阜県農業技術センター	トマト根腐病を引き起こす卵菌類の病原性に及ぼす温度の影響	佐藤 衛	農研機構
10	近藤 亜美	島根県農業技術センター	Corynespora cassiicolaによるバーベナ褐斑病(新称)	佐藤 衛	農研機構
11	林 一沙	高知県農業技術センター	ショウガ褐色しみ病の再同定と有効薬剤の検討	佐藤 衛	農研機構
12	竹原 有志	広島県総合技術研究所	立枯症キクから分離したFusarium languescensによるキク萎凋病(病原追加)	佐藤 衛	農研機構
01_菌類病 (Fungal diseases) 02_検出・診断 (Detection/Diagnoses)					
13	上松 寛	横浜植物防疫所	ディープラーニングを用いたテンサイさび病菌の孢子画像診断AIの作成	日恵野 綾香	岐阜大学
14	岡田 知之	高知県農業技術センター	High Resolution Melting Curve法およびTaqMan PCR法による2種のSDHI耐性ナスすずかび病菌の同時検出	日恵野 綾香	岐阜大学
15	佐々木 一紀	山口大学	レンコン腐敗病菌を特異的に検出するLAMP法の開発	日恵野 綾香	岐阜大学
01_菌類病 (Fungal diseases) 03_病原体の性状 (Characters of pathogens)					
●16	牧 晋太郎	明治大学	イネいもち病菌のニトロノ酸モノオキシゲナーゼ1および5がストレス応答に与える影響	廣岡 裕吏	法政大学
17	比嘉 毅	東京大学	糸状菌Colletotrichum tofieldiaeにおける病原/共生型株の宿主植物根への侵入様式の比較	廣岡 裕吏	法政大学
●18	稲守 裕大	岐阜大学	イネばか苗病菌Fusarium fujikuroiにおけるNADPHオキシダーゼ遺伝子NoxAの破壊	廣岡 裕吏	法政大学
●19	矢崎 裕真	日本大学	アブラナ科類白斑病を引き起こすNeopseudocercospora capsellaeの寄生性分化の解明	廣岡 裕吏	法政大学
20	橋本 秀一	農研機構	サツマイモ組織付傷部からの滲出液は基腐病菌α胞子の発芽を誘導する	須賀 晴久	岐阜大学
21	野見山 孝司	農研機構	寒天葉片法を用いたサツマイモ基腐病菌Diaporthe destruensの孢子大量形成	須賀 晴久	岐阜大学
22	野口(辻本) 雅子	農研機構	サツマイモ基腐病菌のα胞子の耐熱性	須賀 晴久	岐阜大学
23	齊藤 晶	農研機構	鹿児島県肝属郡より採取したサツマイモ基腐病菌のnit変異株の作成とその蒸熱処理耐性	須賀 晴久	岐阜大学
01_菌類病 (Fungal diseases) 04_発生態 (Ecology of pathogens)					
●24	大矢 朱莉	千葉大学	品種の感受性および菌株の病原性に基づくレタス黒根病菌の発生要因に関する考察	竹内 純	東京都農林総合研究センター
25	福間 貴寿	島根県農業技術センター	ネギアザミウマによるタマネギ黒かび病の感染助長	竹内 純	東京都農林総合研究センター
26	山本 知里	富山県農林水産総合技術センター	富山県におけるハトムギ葉枯病の発病推移と有効薬剤の探索	竹内 純	東京都農林総合研究センター
27	池田 健一	神戸大学	コムギ穂の登熟過程におけるいもち病菌の感染時期が種子汚染頻度に与える影響	赤松 創	農研機構
●28	原田 結衣	玉川大学	健全花に潜在感染するピワ果実腐敗の病原Pestalotiopsis属菌の伝染源	赤松 創	農研機構
29	鐘ヶ江 良彦	千葉県農林総合研究センター	人工接種温室におけるトルコギキョウ斑点病の接種時期と潜伏期間	福間 貴寿	島根県農業技術センター
30	大川 美沙	千葉県農林総合研究センター	土壌中のサトイモ疫病菌の生存期間と伝染源としての可能性	福間 貴寿	島根県農業技術センター
01_菌類病 (Fungal diseases) 05_感染生理 (Physiology of pathogens)					
●31	福田 尚寿	鳥取大学	アブラナ科植物黒すす病菌により液体培地中に生産される宿主特異的AB毒素の解析	中馬 いつみ	帯広畜産大学
●32	日野 雄太	名古屋大学	過酸化水素 (Cys-SSH) および多硫化水素 (Cys-SS _n H, n≥1) は植物免疫応答におけるROSシグナルを介在する	中馬 いつみ	帯広畜産大学
●33	向 子愷	神戸大学	いもち病菌の根への感染機構の解明(2)メヒシバいもち病菌によるイネ根の生長抑制と黒変症状の要因解析	中馬 いつみ	帯広畜産大学
34	今野 沙弥香	名古屋大学	ナス科植物に特異的な分泌ペプチドSAR8.2は病原性卵菌および糸状菌に対する抵抗性に関与する	池田 健一	神戸大学大学院
●35	小山 菜々子	名古屋大学	葉緑体電子伝達系のNDH複合体遺伝子はETI応答で発現が抑制される	池田 健一	神戸大学大学院
●36	中村 春平	近畿大学	イネの免疫誘導におけるPUB44の活性化機構の解明	池田 健一	神戸大学大学院
01_菌類病 (Fungal diseases) 06_病原性・抵抗性 (Pathogenicity/Resistant response)					
●37	佐々木 葉南	千葉大学	オクラへの病原力が異なるVerticillium alfalfaeの2菌株間における遺伝的交雑	晝間 敬	東京大学
●38	坂根 光星	鳥取大学	Fusarium oxysporum f. sp. cepaeにおける病原性染色体の同定	晝間 敬	東京大学
39	安次 富厚	沖縄県農業研究センター	琉球列島から分離したイネいもち病菌菌系(Pyricularia oryzae Cavara)の病原性変異	晝間 敬	東京大学
40	田淵 宏朗	農研機構九州沖縄農業研究センター	サツマイモ基腐病に対する室内検定と圃場検定の抵抗性評価の比較	晝間 敬	東京大学
41	河野 洋治	岡山大学	分泌ペプチドIRP1はイネ免疫のサイトカインとして働く	大里 修一	明治大学
●42	MYIN Tnilar	Yamaguchi University	Identification and characterization of Fusarium species, causal agent of Fusarium basal rot disease on onion in Myanmar	大里 修一	明治大学
●43	村上 晃太	中部大学	ボケに発生した自然病斑からのリンゴ斑点落葉病菌の分離	大里 修一	明治大学
●44	小林 誠和	中部大学	トマト萎凋病菌が感染時に発現する低分子タンパク質遺伝子の同定	鮎川 侑	理化学研究所
●45	畑中 千伶	中部大学	イネばか苗病菌のウリ科植物に対する感染能力	鮎川 侑	理化学研究所
46	田中 茂幸	摂南大学	トウモロコシ黒穂病菌が分泌する細胞外小胞に含まれる膜タンパク質ILP1の機能解析	鮎川 侑	理化学研究所
●47	椎名 昭斗	東京大学	寄生型のColletotrichum tofieldiaeにおける二次代謝物産生クラスターABA-Botrydialの機能解析	鮎川 侑	理化学研究所
●48	NGUYENTAN ANH NHI	The University of Tokyo	Plant tryptophan metabolism pathway is crucial for plant growth promotion by Colletotrichum tofieldiae under nitrogen deficiency	田中 茂幸	摂南大学
●49	酒造 ひなた	筑波大学	植物病原性糸状菌Fusarium oxysporumの侵襲性と病原性の関連	田中 茂幸	摂南大学
50	浅井 秀太	理化学研究所	ダイコン萎黄病菌の病原性に関与するベアエフェクターの同定	田中 茂幸	摂南大学
●51	米原 克磨	理化学研究所	アブラナ科炭疽病菌におけるCRISPR-Cas9システムを用いたマーカーリサイクリング法による多重遺伝子破壊法の開発	田中 茂幸	摂南大学
52	岩井 孝尚	宮城大学	いもち病抵抗性と関連したフラボノイド化合物の蓄積	善林 薫	農研機構
53	吉岡 資洋	神戸大学	コムギいもち病抵抗性遺伝子Rmg8を導入したチクゴイミ準同質遺伝子系統の育成とその抵抗性評価	善林 薫	農研機構
54	入枝 泰樹	信州大学	病原糸状菌に対するシロイヌナズナ表皮葉緑体応答の制御因子と侵入抵抗性への関与	善林 薫	農研機構
55	津島 綾子	大阪公立大学	コムギ赤さび病菌の病原性決定因子同定に向けたk-mer GWAS解析	白須 賢	理化学研究所
56	鈴木 浩之	新潟食料農業大学	ダイズ祖先種ツルメから分離されたColletotrichum destructivumおよびThanatephorus cucumeris AG-1 IBはダイズを発病させる	白須 賢	理化学研究所
●57	廣野 竜也	香川大学	宿主特異的ACT毒素合成におけるORF45の役割について	白須 賢	理化学研究所
●58	川出 貴大	香川大学	ACR毒素合成に関与するポリケチド合成遺伝子ACRTS2の発現系構築	白須 賢	理化学研究所
●59	Dang Thach An	Kobe University	A MoSET1-dependent Zn2/Cys6 transcription factor regulates appressorium formation through cation movement in Pyricularia oryzae	宇佐見 俊行	千葉大学大学院
60	古田 明子	佐賀県農業試験研究センター	西南暖地におけるタマネギ乾腐病耐病性品種の検討	宇佐見 俊行	千葉大学大学院
●61	MAHADEVAN Neranjana	岡山大学	N-hydroxyisovaleric acid confers resistance to Rhizoctonia Solon in barley and Brachypodium distachyon	宇佐見 俊行	千葉大学大学院

番号	発表者	所属	演題名	座長	座長所属
●は「学生優秀発表賞」応募者					
01_菌類病 (Fungal diseases) 07_防除薬剤・薬剤耐性 (Control agents/Chemical resistance)					
62	浅野 峻介	奈良県農業研究開発センター	トマト葉かび病菌のSDHI剤6剤に対する感受性とその防除効果	中島 雅己	茨城大学
●63	KHAIRANI HAGIA SOPHIA	Hokkaido University	The Resistance of Rice Blast Fungus to Isoprothiolane	中島 雅己	茨城大学
●64	後藤 寛治	東京農工大学	イネいもち病菌クリソウイルスMoCV1-Aが宿主の薬剤感受性に与える影響	中島 雅己	茨城大学
65	舛本 将明	熊本県農業研究センター	温度とカーバムナトリウム塩液剤処理がトマトすかび病菌の分生子発芽に及ぼす影響	藤永 真史	長野県野菜花き試験場
66	井上 麻里子	茨城県農業総合センター	QoI剤耐性ナシ炭疽病菌に対する有効薬剤および圃場接種試験法	藤永 真史	長野県野菜花き試験場
67	矢野 和孝	高知県農業技術センター	高知県で発生するSDHI剤耐性ナスすかび病菌の培地を用いた検定方法	藤永 真史	長野県野菜花き試験場
68	坂原 優里	岐阜大学	CYP51Bのアミノ酸変異によるイネばか苗病菌のプロクロラズとペフラゾートの交叉耐性	菅原 敬	山形県最上総合支庁
69	矢尾 幸世	岡山県農林水産総合センター	岡山県におけるアゾキシストロビン耐性アスパラガス褐斑病菌の発生と有効薬剤の選抜	菅原 敬	山形県最上総合支庁
70	藤田 剛輝	福島県農業総合センター	ナシ黒星病に対する各種QoI剤の果実における防除効果と強化防除体系の検証	菅原 敬	山形県最上総合支庁
01_菌類病 (Fungal diseases) 08_生物防除・防除法 (Bio-Control/Control methods)					
71	西見 勝臣	山口県農林総合技術センター	温水高圧洗浄機を利用したイチゴ育苗用底面灌水マットの温湯消毒の効果	渡辺 秀樹	岐阜県農業技術センター
72	下元 祥史	高知県農業技術センター	UV-C照射のピーマンうどんこ病防除効果	渡辺 秀樹	岐阜県農業技術センター
73	村田 つばさ	三重県農業研究所	常温煙霧処理技術を用いたポーベリア・バシアーナ乳剤のトマトうどんこ病に対する防除効果	渡辺 秀樹	岐阜県農業技術センター
●74	川原 三奈	北海道大学	ジャガイモ乾腐病菌の分離・同定とその防除に関する研究	渡辺 秀樹	岐阜県農業技術センター
01_菌類病 (Fungal diseases) 09_その他 (Other)					
75	池田 幸子	北海道立総合研究機構	北海道における根雪始からの積算温度とリンゴ黒星病菌子嚢胞子の飛散の関係	小松 健	東京農工大学
●76	山崎 真也	東京理科大学	CRISPR/Cas12aを用いたイネいもち病菌およびトマト萎凋病菌のゲノム編集	小松 健	東京農工大学
02_ウイルス・ウイルス様体 (Viral/Viroid diseases) 01_分類・同定 (Identification)					
77	煉谷 裕太郎	宇都宮大農	ワサビダイコンから検出されたカリモウイルスの同定と感染性クローン構築	久保田健嗣	農研機構
●78	岩井 一真	秋田県立大学	国内のセンキュウから検出されたcnidium virus 1の全塩基配列と遺伝的多様性	久保田健嗣	農研機構
●79	山本 桐也	東京大学大学院	国内のブドウ苗木から検出されたgrapevine red globe virusの全ゲノム解析	久保田健嗣	農研機構
02_ウイルス・ウイルス様体 (Viral/Viroid diseases) 02_検出・診断 (Detection/Diagnoses)					
80	岡田 亮	茨城県農業総合センター	ウリ類退緑黄化ウイルスの組換え主要外被タンパク質に対するポリクローナル抗体の作製	藤晋一	秋田県立大学
81	杉山 茂大	株式会社ニッポン	ウリ類退緑黄化ウイルス (CCYV) 検出用イムノクロマトの開発	藤晋一	秋田県立大学
82	祖田 嘉教	大分県農林水産研究指導センター	放射状着色および茶褐色を呈するダイズ種子からの感染ウイルスの識別検出	藤晋一	秋田県立大学
83	岩前 智之	神戸植物防疫所	2つのmultiplex RT-PCR法によるブドウに感染するウイルス13種の同時検出法の開発	藤晋一	秋田県立大学
84	田中 さおり	横浜植物防疫所	ベトナム産トウガラシ種子及びタイ産トマト種子から検出されたポスピウイルスについて	藤晋一	秋田県立大学
85	FAWZIA, Novianti	東京農工大学	Visualization of a systemic movement of GFP-expressing virus in the plant vascular tissue by an improved clearing method	煉谷裕太郎	宇都宮大学
86	磯貝 雅道	岩手大学大学院	こぶ症を呈したリンドウからの低分子RNA解析によるウイルス検出	煉谷裕太郎	宇都宮大学
87	小田 一登	日本甜菜製糖株式会社	LAMP法を用いたテンサイそう根病土壌検診法の開発	煉谷裕太郎	宇都宮大学
88	富高 保弘	農研機構植物防疫部門	Tomato brown rugose fruit virusを特異的に検出するためのポリクローナル抗体の作製	煉谷裕太郎	宇都宮大学
89	篠坂 響	農研機構種苗管理センター	DAS-ELISA法によるトマト種子からの tomato brown rugose fruit virus の検出法の開発	煉谷裕太郎	宇都宮大学
02_ウイルス・ウイルス様体 (Viral/Viroid diseases) 03_病原体の性状 (Characters of pathogens)					
90	久保田 健嗣	農研機構	国内未発生のトバモウイルス2種の宿主範囲および病原性	竹下 稔	宮崎大学
91	北浦 健太郎	東京農工大学	異なる菌株に感染するColletotrichum fructicola mitovirus 1の塩基配列比較	竹下 稔	宮崎大学
●92	作田 康平	東京農工大学	酵母異種発現系を利用した疫病菌エンドルナウイルスのニック生成機構の再現性解析	竹下 稔	宮崎大学
93	TELENGECH, Paul Kipkemboi	岡山大学	Replication of single partitiviruses in organisms across three kingdoms: Fungi, Plantae and Animalia	竹下 稔	宮崎大学
94	SHAHI SABITREE	Okayama University	Low-level IRES activity likely contributes to replication restriction of <i>Cryphonectria hypovirus 1</i> in <i>Cryphonectria carpnicola</i>	富高 保弘	農研機構
95	関根 健太郎	琉球大学	冬季に葉巻症状が顕在化するハンダマ(スイゼンジナ)から検出されたキクBウイルスの病原性の解析	富高 保弘	農研機構
●96	櫻井 路夏	東京農業大学	日本のオオバコから分離したpotexvirusとpotyvirusの性状解明	富高 保弘	農研機構
02_ウイルス・ウイルス様体 (Viral/Viroid diseases) 04_発生生態 (Ecology of pathogens)					
●97	川久保 修佑	北海道大学	リーキ黄色条斑ウイルスとネギ属植物の共進化:リーキからニンニクへの宿主適応	関根健太郎	琉球大学
●98	石崎 駿卓	法政大学	キク科草本植物を中間宿主とするウメ輪紋ウイルス伝染環の推定モデル	関根健太郎	琉球大学
●99	羽鳥 秀一	新潟大学	BYDV-PAVによる媒介昆虫の寄主選択行動を変化させる因子の究明	関根健太郎	琉球大学
100	佐野 義孝	新潟大学	レンゲ萎縮ウイルス (milk vetch dwarf virus, MDV) の非マメ科植物における感染	関根健太郎	琉球大学
02_ウイルス・ウイルス様体 (Viral/Viroid diseases) 05_感染生理 (Physiology of pathogens)					
101	門馬 悠介	京都府農林水産技術センター	パパイヤ輪点ウイルスに対するズッキーニ黄斑モザイクウイルスおよびスイカモザイクウイルス弱毒株の干渉効果	佐々木信光	東京農工大学
102	渡邊 希香	農研機構	出芽酵母複製系におけるトマト黄化えそウイルスの複製への宿主ESCRT複合体の関与	佐々木信光	東京農工大学
103	藤本 祐司	立教大学	ポテックスウイルスの3つの移行タンパク質の翻訳機構	佐々木信光	東京農工大学
104	高橋 英樹	東北大学	キュウリモザイクウイルスHo系統が不顕性感染したシロイヌナズナとY系統が急性感染したシロイヌナズナの比較トランスクリプトーム解析	佐々木信光	東京農工大学
105	ABEBE, Derib A	東北大学	Amino acid residues in the LRR domain of RCY1 protein that may have conferred its recognition specificity to cucumber mosaic virus	佐々木信光	東京農工大学
106	平澤 花織	東北大学	植物ウイルスの細胞間移行・複製シミュレーションモデルにおける実質MOIの動的決定とそれがもたらす頑健性	井村 喜之	日本大学
107	宮下 脩平	東北大学	細胞間移行タンパク質・外被タンパク質機能不全型人工改変RNA3によるキュウリモザイクウイルスの細胞間移行阻害	井村 喜之	日本大学
取消108	佐々木 稜太	東北大学	落葉堆肥から検出された <i>Ralstonia</i> 属細菌に感染する新奇ジャンボファージの分子系統解析	井村 喜之	日本大学
●109	阿部 香奈	東北大学	青枯病菌に感染するジャンボファージの病害抑制効果の検討	井村 喜之	日本大学
●110	太田 江美	宮崎大学	キュウリモザイクウイルスY系統由来の欠損RNA 3派生への2bタンパク質の関与	井村 喜之	日本大学
02_ウイルス・ウイルス様体 (Viral/Viroid diseases) 06_病原性・抵抗性 (Pathogenicity/Resistant response)					
●111	西川 雅展	東京大学	EXA1欠損によるポテックスウイルス劣性抵抗性への翻訳開始因子eIF4Eアイソフォームの関与	望月 知史	大阪公立大学
112	今 辰哉	秋田県立大学	トマト斑紋モザイクウイルスの病原性と宿主域	望月 知史	大阪公立大学
113	松山 桃子	農研機構	我が国におけるピーマンの黄化えそ病抵抗性を打破するトマト黄化えそウイルス(TSWV)の特徴	望月 知史	大阪公立大学
114	大木 健広	北海道農業研究センター	ムギ類萎縮ウイルスのコムギへの感染性に関わるウイルスタンパク質の同定	望月 知史	大阪公立大学
●115	井口 宏紀	大阪府立大学	キュウリモザイクウイルスによる退緑発病機構における外被タンパク質と葉緑体の関与	安藤 杉尋	東北大学大学院
●116	陳 夢月	東京農工大学	ポテックスウイルスの細胞間移行におけるタバコ原形質膜タンパク質NtREM1.2の促進的役割	安藤 杉尋	東北大学大学院
●117	吉川 宗寿	東京農工大学	タバコMYB転写因子NtMDP92はN遺伝子非依存的なウイルス抵抗性の 負の制御に関与する	安藤 杉尋	東北大学大学院
●118	高松 海斗	日本大学大学院	植物体内でのウイルス移行を制御する液胞輸送関連タンパク質の解析	安藤 杉尋	東北大学大学院
●119	作川 かがり	東京農工大学	プラントアクチベーター処理植物における蛍光タンパク質発現ウイルスの長距離移行段階に特異的な欠失変異	中原 健二	北海道大学
●120	星野 宏弥	東京農業大学	TuMV抵抗性カラシナ品種「扁杆青」のジーンバンク由来TuMV-F1分離株を用いた解析	中原 健二	北海道大学
●121	中嶋 瞳	岩手大学大学院	リンゴクロロティックリーフスポットウイルス輪状さび果病分離株の病原性決定領域の解析	中原 健二	北海道大学
●122	佐野 彩葉	東京農工大学	N遺伝子をもつタバコでのタバコモザイクウイルス抵抗性誘導におけるDof型転写因子BBF2の関与	中原 健二	北海道大学
02_ウイルス・ウイルス様体 (Viral/Viroid diseases) 07_防除薬剤・薬剤耐性 (Control agents/Chemical resistance)					
●123	津金 朋代	東京農工大学	テンサイ褐斑病菌に感染する新規マイコウイルスの薬剤感受性に対する影響調査	宮下脩平	東北大学大学院

番号	発表者	所属	演題名	座長	座長所属
●は「学生優秀発表賞」応募者					
02_ウイルス・ウイルス病 (Viral/Viroid diseases) 08_生物防除・防除法 (Bio-Control/Control methods)				座長	座長所属
124	一木 珠樹	農研機構	薬用植物に感染するキュウリモザイクウイルスの弱毒株の作出と評価	宮下脩平	東北大学大学院
02_ウイルス・ウイルス病 (Viral/Viroid diseases) 09_その他 (Other)				座長	座長所属
●125	江崎 亮太	静岡大学	カンキツの幼実生とウイルス感染樹の細枝を用いた新梢接ぎ木法の応用	宮下脩平	東北大学大学院
126	望月 知史	大阪公立大学	遺伝子改変木と非遺伝子改変木間の外来タンパク質輸送への植物ウイルス感染の影響評価	宮下脩平	東北大学大学院
03_細菌・ファイトプラズマ病 (Bacterial diseases) 01_分類・同定 (Identification)				座長	座長所属
127	達 瑞枝	農研機構	<i>Pseudomonas kitaguniensis</i> によるタマネギ腐敗病の発生	北沢優悟	東京大学
●128	吉田 竜斗	北海道大学	<i>Paenibacillus polymyxa</i> はジャガイモ疫病に起因する塊茎貯蔵腐敗に関与する	北沢優悟	東京大学
03_細菌・ファイトプラズマ病 (Bacterial diseases) 03_病原体の性状 (Characters of pathogens)				座長	座長所属
●129	西山 晴喜	九州大学	青枯病菌キク分離株の性状解析	北沢優悟	東京大学
●130	梶 結利加	法政大学	ファイトプラズマの低温ショックタンパク質は植物免疫を誘導しにくい性質を持っている	北沢優悟	東京大学
131	遠藤 藍	法政大学	アジサイ葉化病ファイトプラズマの分泌タンパク質HYDE5はGATA転写因子HANを分解する	北沢優悟	東京大学
●132	徳田 遼佑	東京大学	全ゲノム情報の比較に基づくファイトプラズマの種内近縁性の評価	藤本 岳人	農林水産省
●133	LE Quang Man	Kyushu University	Phylogenetic analyses of two <i>Pectobacterium</i> species isolated from blackleg disease of potato occurred in Nagasaki Prefecture, Japan	藤本 岳人	農林水産省
134	永井 敦也	宇都宮大学	軟腐病菌 <i>Pectobacterium carotovorum</i> のシグナル伝達物質に対する走性応答	藤本 岳人	農林水産省
●135	堀込 隼太	高崎健康福祉大学	LAMP法によるコンニャク葉枯病原細菌 <i>Acidovorax konjaci</i> の検出	藤本 岳人	農林水産省
03_細菌・ファイトプラズマ病 (Bacterial diseases) 04_発生生態 (Ecology of pathogens)				座長	座長所属
136	大竹 裕規	福島県農業総合センター	トマトかいよう病菌は農業用資材上で越冬し次年度の伝染源となる	藤川貴史	農研機構
137	中山 大誠	千葉県農林総合研究センター	ダイコン根部の黒点症状を発生させる <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>raphani</i> の伝染経路と薬剤防除の検討	藤川貴史	農研機構
138	猫塚 修一	岩手県農業研究センター	リンゴ胴枯細菌病の内部病徴と <i>Dickeya dadantii</i> による台木地上部の不定根および木部への病原性	藤川貴史	農研機構
139	桐野 菜美子	岡山県農林水産総合センター	モモ胴枯細菌病の樹体内分布と残渣における越冬状況	藤川貴史	農研機構
140	川上 敦子	岡山県農林水産総合センター	モモ園場周辺に自生する雑草へのモモ胴枯細菌病 (急性枯死症) <i>Dickeya dadantii</i> の病原性及び検出状況 (第2報)	藤川貴史	農研機構
03_細菌・ファイトプラズマ病 (Bacterial diseases) 05_感染生理 (Physiology of pathogens)				座長	座長所属
●141	渡邊 雄太	岡山大学	<i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>tabaci</i> 6605のPASドメインを保持するサイトゾル型走化性受容体の病原性における役割	横田健治	東京農業大学
●142	曹 玉竹	愛媛大学	Reception mechanism of plant signals inducing hrp regulon expression in <i>Ralstonia solanacearum</i>	横田健治	東京農業大学
●143	MEHBUB Hasan	愛媛大学	New evaluation method of <i>Ralstonia solanacearum</i> infection on ginger using aseptically regenerated ginger plants	横田健治	東京農業大学
●144	鈴木 豪	香川大学	ジャスモン酸応答性サリチル酸メチルによって誘導されるイネ白葉枯病病害抵抗性機構の解析	横田健治	東京農業大学
●145	高楠 万結	香川大学大学院	青枯病菌アンキリンリピートエフェクター形質転換シロイヌナズナおよびベンサミアタバコの表現型解析	大西浩平	高知大学
●146	川人 恵理香	香川大学大学院	シロイヌナズナ <i>smn2</i> / <i>hen2</i> 変異体におけるSMN1 / RPS6 の機能欠損の機構解明	大西浩平	高知大学
●147	吉久 采花	近畿大学	イネNB-LRR型受容体Xa1の複合体形成と免疫活性化機構の解明に向けて	大西浩平	高知大学
03_細菌・ファイトプラズマ病 (Bacterial diseases) 06_病原性・抵抗性 (Pathogenicity/Resistant response)				座長	座長所属
●148	田村 孝太郎	立命館大学	比較ゲノム学による <i>Pseudomonas syringae</i> 系統間の病原性差異を生み出すエフェクターの同定	松井 英謙	岡山大学
●149	松山 樹立	東京大学	ファイトプラズマの葉化誘導因子ファイロジェンの標的認識に関わる新規アミノ酸残基の網羅的探索	松井 英謙	岡山大学
150	北沢 優悟	東京大学	ファイロジェンとMADSドメイン転写因子の結合に影響するアミノ酸残基はひとつの相互作用面を形成する	松井 英謙	岡山大学
●151	坂井 瞭太	九州大学	ショウガ科植物葉における青枯病菌の動態解析	石賀 康博	筑波大学
●152	Hemelda Niarsi Merry	岡山大学	The impact of <i>Rhizobium vitis</i> VAR03-1 on the growth of <i>Arabidopsis thaliana</i> in different nutrient conditions	石賀 康博	筑波大学
●153	野洲 由美子	茨城大学	イネ白葉枯病菌の6型分泌系のエフェクターおよび免疫タンパク質の機能解析	石賀 康博	筑波大学
●154	館田 宇宙	高知大学	青枯病菌OE1-1株におけるFerric uptake regulator Fur1とFur2による鉄依存的な遺伝子発現制御	石賀 康博	筑波大学
●155	篠田 快望	京都大学	高温による抑制に対して頑健な細菌抵抗性をシロイヌナズナに付与するAHL転写因子の機能解析	門田 康弘	理化学研究所
156	UTAMI YUNIAR DEVI	東京大学	Nutrient status determines <i>Pseudomonas aeruginosa</i> effect on <i>Arabidopsis thaliana</i> growth	門田 康弘	理化学研究所
●157	石川 真太郎	京都大学	二成分制御系CbrABIは高温環境下におけるトマト斑葉細菌病の増殖をエフェクターとは独立して促進する	門田 康弘	理化学研究所
158	岡野 夕香里	福島大学	<i>Xanthomonas arboricola</i> pv. <i>pruni</i> が引き起こすタバコのHR様反応の解析	門田 康弘	理化学研究所
●159	中尾 有那	信州大学	5菌株のタバコ野火病菌とベンサミアタバコの相互作用の比較解析	飯山 和弘	九州大学
160	都筑 正行	高知大学	青枯病菌OE1-1株における比較トランスクリプトーム解析	飯山 和弘	九州大学
●161	植山 竜弥	高知大学	青枯病菌OE1-1株における新規ラフラノン依存転写制御因子の病原性への関与	飯山 和弘	九州大学
●162	磯邊 優太	法政大学	野菜類軟腐病菌 <i>Pectobacterium odoriferum</i> の病原性因子の探索	飯山 和弘	九州大学
163	石濱 伸明	理化学研究所	植物免疫阻害剤Tenoxicamの標的タンパク質同定と作用機序解析	平田 久笑	静岡大学
164	黒江 香那	岡山大学	タバコ野火病菌のType III effectorの標的因子の網羅的同定	平田 久笑	静岡大学
●165	宮本 祐奈	京都府立大学	イネ白葉枯病菌のグローバル転写制御因子Cip1は病原性に関与するセロピオンダーゼ遺伝子 <i>cbsA</i> の発現を正/負に制御する。	平田 久笑	静岡大学
03_細菌・ファイトプラズマ病 (Bacterial diseases) 07_防除薬剤・薬剤耐性 (Control agents/Chemical resistance)				座長	座長所属
166	小幡 善也	滋賀県農業技術振興センター	滋賀県で分離されたタマネギ腐敗病細菌の薬剤感受性	古谷綾子	茨城大学
●167	小林 克隆	東京農業大学	水酸化マグネシウムによるモモせん孔細菌病の発病抑制効果	古谷綾子	茨城大学
●168	谷口 将理	法政大学	キュウリ斑点細菌病 (<i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>lachrymans</i>) の人工汚染種子に対する無水硫酸アルミニウムカリウム浸漬処理の防除効果	古谷綾子	茨城大学
169	石賀 康博	筑波大学	シロイヌナズナにおけるアスピベンゾラルS-メチルによる全身抵抗性機構について	古谷綾子	茨城大学
●170	田中 大翔	法政大学	トマト青枯病 (<i>Ralstonia solanacearum</i>) に対する生育期防除法の試み	大島研郎	法政大学
171	日下部 翔平	福島県農業総合センター	新規剤を組み入れたモモせん孔細菌病の防除体系の効果	大島研郎	法政大学
03_細菌・ファイトプラズマ病 (Bacterial diseases) 08_生物防除・防除法 (Bio-Control/Control methods)				座長	座長所属
172	川上 拓	三重県農業研究所	青枯病菌感染性バクテリオファージのシソ科青枯病に対する防除効果	大島研郎	法政大学
●173	米原 駿	九州大学	青枯病の生物的防除素材としての病原性関連遺伝子破壊株の評価	大島研郎	法政大学
●174	横山 遼人	東京農業大学	<i>Pseudomonas tolaasii</i> 814株と <i>Pseudomonas</i> sp. BM2-6株のエノキタケ菌床での動態	大島研郎	法政大学
04_植物保護 (Plant protection) 02_検出・診断 (Detection/Diagnoses)				座長	座長所属
●175	POTI Teeranai	香川大学	Development of colorimetric LAMP assay for the detection of carbendazim-resistant isolates of <i>Colletotrichum truncatum</i>	犬飼剛	北海道大学
04_植物保護 (Plant protection) 04_発生生態 (Ecology of pathogens)				座長	座長所属
176	三室 元気	富山県農林水産総合技術センター	ダイズ黒根腐病の発病リスク推定の試み	犬飼剛	北海道大学
04_植物保護 (Plant protection) 05_感染生理 (Physiology of pathogens)				座長	座長所属
177	佐藤 一輝	理化学研究所	RNA結合タンパク質を標的とするネコブセンチュウエフェクターによる免疫抑制機構の解析	犬飼剛	北海道大学
●178	須川 夢子	名古屋大学	咀嚼昆虫の分子パターンに応答した植物免疫シグナルに関与する遺伝子の探索	犬飼剛	北海道大学
●179	竹崎 真帆	香川大学	希少糖の植物への作用 (62): イネphosphoglucose isomerase (OsPGI1) 活性の変異挿入解析	別役重之	龍谷大学
●180	島村 祐成	香川大学	希少糖の植物への作用 (63): 希少糖代謝関連酵素を用いた各種希少リン酸糖生産システムの確立	別役重之	龍谷大学
●181	松岡 佑奈	香川大学	希少糖の植物への作用 (64): 希少糖処理によるOsSWEETの発現誘導/抑制	別役重之	龍谷大学

番号	発表者	所属	演題名	座長	座長所属
●は「学生優秀発表賞」応募者					
04_植物保護 (Plant protection) 06_病原性・抵抗性 (Pathogenicity/Resistant response)				座長	座長所属
182	早野 由里子	農研機構	イネ綿葉枯病抵抗性遺伝子座における多様性とイネ綿葉枯病	秋本千春	農研機構
183	神田 恭和	農研機構	イネ複合病害抵抗性遺伝子BSR1の過剰発現は植食性昆虫に対するファイトアレキシン蓄積および抵抗性を向上させる	秋本千春	農研機構
●184	赤城 怜奈	横浜国立大学	新規殺菌剤トルプロカブに関する研究(第20報)—シロイヌナズナにおける腐生性病原糸状菌防除効果の検討—	秋本千春	農研機構
185	門田 康弘	理化学研究所	PAMP受容体の新規制御因子KIN7の同定と、KIN7と相互作用する細菌由来のエフェクターの解析	秋本千春	農研機構
●186	中村 哲太郎	横浜国立大学	アグロインフィルトレーション法による防御応答遺伝子発現の高感度モニタリングを可能にする培養条件について	秋本千春	農研機構
04_植物保護 (Plant protection) 07_防除薬剤・薬剤耐性 (Control agents/Chemical resistance)				座長	座長所属
187	坂田 七海	筑波大学	キャベツ黒斑細菌病の防除に資するアミノ酸の探索(2)	能年義輝	岡山大学
188	持田 恵一	理化学研究所	ベントグラスにおけるアシベンゾラルS-メチルに対する遺伝子発現応答	能年義輝	岡山大学
●189	小川 聡太	東京理科大学	植物のジャスモン酸・サリチル酸双方の経路を活性化する抵抗性誘導候補化合物の構造活性相関・作用機序の解析と灰色カビ病菌に対する効果	能年義輝	岡山大学
190	江草 真由美	鳥取大学	銅ナノ粒子/キチナンノファイバー複合体の作製と植物病害防除に関する機能評価	能年義輝	岡山大学
191	鳴坂 真理	岡山県農林水産総合センター	ゲットウ由来プロアントシアニジンを利用した新規抗植物ウイルス剤の開発研究	能年義輝	岡山大学
192	中島 宏和	長野県農業試験場	長野県北部の黒ボク土壌における土壌改良資材とシメコナゾール粒剤のイネ稲こじ病に対する効果	三室元気	富山県
193	井手 洋一	佐賀県農業試験研究センター	イネ育苗期間中の灌水方法および培土の種類が殺菌剤および殺虫剤の播種時処理の防除効果に及ぼす影響	三室元気	富山県
194	小田 裕太	山口県農林総合技術センター	ダイズ褐色輪紋病に対する種子消毒および薬剤散布の防除効果	三室元気	富山県
195	堀越 紀夫	福島県農業総合センター	トルコギキョウ斑点病に対する各種粒剤の防除効果	三室元気	富山県
196	桑原 七海	石原産業株式会社	植物寄生性線虫によるアブラナ科作物根こぶ病の発病助長およびフルアジナムとホステアゼートを用いた同時防除の有効性	門馬法明	園芸植物育種研究所
197	青木 由	千葉県農林総合研究センター	ニンジン乾腐病に対する防除薬剤の検討	門馬法明	園芸植物育種研究所
198	武田 健吾	石原バイオサイエンス株式会社	サツマイモ基腐病に対するフルアジナム水和剤(フロンサイド®SC)の土壌処理による防除効果	門馬法明	園芸植物育種研究所
199	和田 薫	石原産業株式会社中央研究所	サツマイモ基腐病に対するフルアジナム水和剤(フロンサイド®SC)の散布処理による防除効果	門馬法明	園芸植物育種研究所
200	鷹野 公嗣	山梨県果樹試験場	モモの剪定切り口ならびに傷口における塗布剤の胴枯病菌侵入抑制効果	井手洋一	佐賀県
201	芋坂 大樹	岡山農研	ブドウ晩腐病に対するイプフルフェノキシン剤を用いた体系防除の有効性	井手洋一	佐賀県
202	氏家 章雄	香川県農業試験場	オリブピーコック黒星病(Venturia oleaginea)の発生消長と防除対策の検討	井手洋一	佐賀県
203	菊原 賢次	福岡県農林総合試験場	カンキツそうか病に対するジチアノンおよび灰色かび病に対するテブコナゾール・トリフロキシストロピンのドローン散布による防除効果の検討	井手洋一	佐賀県
204	坂井 妙子	福岡県農林総合試験場	福岡県におけるQol剤耐性ナシ炭疽病菌発生圏の防除体系の構築	井手洋一	佐賀県
205	平山 和幸	青森県産業技術センター	機能性展着剤の加用によるリンゴ黒星病に対するSDHI剤の治療効果の向上	井手洋一	佐賀県
206	森實 祐香	高知県農業技術センター	高知県で発生するナス黒枯病菌に対するピリベンカルブの防除効果	西村文宏	香川県
207	恒川 健太	愛知県農業総合試験場	愛知県内における灰色かび病菌のQol剤及びSDHI剤耐性変異の発生状況	西村文宏	香川県
208	川崎 達弘	日本曹達株式会社	新規殺菌剤キノプロール®(ミギワ[®])に関する研究(第3報) —キノプロール®フロアブルの豆・野菜病害に対する防除効果—	西村文宏	香川県
209	石井 英夫	筑波大学	植物病原菌のイプフルフェノキシン感受性の違いとDHODH(dihydroorotate dehydrogenase) 遺伝子シーケンスの関係	西村文宏	香川県
210	萩原 隆介	株式会社クレハ	ブラジル及びバングラデシュ産ダイズさび病菌の薬剤感受性及び遺伝子解析	内橋嘉一	兵庫県
211	佐戸 翔太	株式会社クレハ	2020年に分離されたイネばか苗病菌のイプコナゾールに対する感受性とCYP51遺伝子の塩基配列	内橋嘉一	兵庫県
212	堅石 秀明	(株)クレハ	Fusarium fujikuroi(イネばか苗病菌)のイプコナゾールに対する感受性の遺伝	内橋嘉一	兵庫県
213	堀 武志	新潟県農業総合研究所	新潟県におけるイネばか苗病菌のDMI剤に対する感受性とその推移	内橋嘉一	兵庫県
04_植物保護 (Plant protection) 08_生物防除・防除法 (Bio-Control/Control methods)				座長	座長所属
214	飯田 祐一郎	摂南大学	昆虫寄生菌Beauveria bassiana GHA株の局所的な抵抗性誘導によるキュウリうどんこ病の発病抑制効果	清水佐知子	広島県
●215	山田 夏菜	茨城大学	ソルガム根に内生する拮抗細菌のトマト青枯病抑制効果	清水佐知子	広島県
●216	川澄 留佳	大阪府立大学	異なる原料から作られたタケ由来ミズ堆肥の病害抑制効果の比較	清水佐知子	広島県
217	一色 淳憲	東洋製糖グループホールディングス株式会社	ナノセルロースを含有するカンキツ果皮由来成分の有効利用	清水佐知子	広島県
218	伊代住 浩幸	静岡県農林技術研究所	イチゴ罹病残渣処分における尿素肥料添加手法の適用	清水佐知子	広島県
219	伊藤 聖	バイエル クロップサイエンス株式会社	施設栽培における空気伝染性病害のAIを用いた発病予測と防除 1) AIによる発病リスクの推定	岩波 徹	東京農業大学
220	古屋 廣光	秋田県立大学	施設栽培における空気伝染性病害のAIを用いた発病予測と防除 2) イチゴうどんこ病の感染発病に対する湿度と葉面濡れの影響	岩波 徹	東京農業大学
221	戸田 武	秋田県立大学	施設栽培における空気伝染性病害のAIを用いた発病予測と防除 3) イチゴ炭疽病の感染発病に対する湿度と葉面濡れ時間の影響	岩波 徹	東京農業大学
222	鳴坂 義弘	岡山県農林水産総合センター	施設栽培における空気伝染性病害のAIを用いた発病予測と防除 4) イチゴうどんこ病の高感度検出技術の開発と発病予測	岩波 徹	東京農業大学
223	岩館 康哉	岩手県農業研究センター	施設栽培における空気伝染性病害のAIを用いた発病予測と防除 5) 発病予測システムを利用したトマトうどんこ病の管理	岩波 徹	東京農業大学
224	清水 佐知子	広島県立総合技術研究所農業技術センター	施設栽培における空気伝染性病害のAIを用いた発病予測と防除 6) 発病予測システムを利用したトマトさび病の管理	岩波 徹	東京農業大学
225	西村 文宏	香川県農業試験場	施設栽培における空気伝染性病害のAIを用いた発病予測と防除 7) 発生予測システムを利用したイチゴうどんこ病の管理	岩波 徹	東京農業大学
226	守田 航馬	日本植物防疫協会	多様な栽培施設に対する常温煙霧処理の適用性(1)連棟ハウス	川上拓	三重県
227	浜田 拓弥	日本植物防疫協会	多様な栽培施設に対する常温煙霧処理の適用性(2)連棟不整形ハウス、高軒高ハウス	川上拓	三重県
228	田代 暢哉	プラントヘルスケア研究所	ペースト状ボルドー液のドローン散布はカンキツかいよう病対策として活用できる	川上拓	三重県
229	小河原 孝司	茨城県農業総合センター	ナシ栽培における無人防除機を用いた黒星病防除の可能性	川上拓	三重県
230	吉田 卓司	農研機構	ナシ黒星病抵抗性品種「ほしあかり」を利用した減農薬防除の検討	小河原孝司	茨城県
231	齋藤 隆明	秋田県農業試験場	ネギ病害に対するマルチローターを用いた薬剤防除の実用性	小河原孝司	茨城県
232	内橋 嘉一	兵庫県立農林水産技術総合センター	湿度制御型グロースチャンバーを用いたイプコナゾール(Ip)及びベノミル(Be)のコムギいもち病防除効果の評価	小河原孝司	茨城県
233	宮崎 暁喜	岐阜県農業技術センター	植物油精製副産物の土壌還元消毒への適用の可能性	伊代住浩幸	静岡県
234	堀田 光生	農研機構	土壌還元消毒過程における土壌微生物相の変化および消毒効果に関連する微生物種の推定	伊代住浩幸	静岡県
●235	前田 和弥	摂南大学	菌寄生菌Dicyma pulvinataが分泌するdeoxyphenoneの生合成遺伝子群は菌寄生時に高発現する	伊代住浩幸	静岡県
236	竹内 香純	農業・食品産業技術総合研究機構	グルタミン酸はPseudomonas protegens CHA0のキチナーゼを正に制御する	伊代住浩幸	静岡県
05_診断・新病害 (Diagnoses/New diseases) 01_分類・同定 (Identification)				座長	座長所属
237	河原崎 秀志	農業・環境・健康研究所	Botrytis fabiopsis によるシラン灰色かび病(新称)の発生	飯田祐一郎	摂南大学
238	伊賀 優実	秋田県立大学	北海道で発生したFusarium oxysporumによるカスミソウ根腐病(新称)	飯田祐一郎	摂南大学
239	坂本 彩	東京都島しょ農林水産総合センター	Fusarium sp.によるルスカス葉枯病(新称)	飯田祐一郎	摂南大学
240	廣岡 裕吏	法政大学	Alternaria gaisenによるセネガ輪紋病(新称)	飯田祐一郎	摂南大学
●241	桂 恵輔	大阪公立大学	Aphanomyces cochlioidesおよびAphanomyces sp.によるキヌア苗立枯病(新称)	飯田祐一郎	摂南大学
242	藤 結宇	長野県野菜花き試験場	Phytophthora tentaculataによるパセリ—疫病の発生(病原追加)	本橋慶一	東京農業大学
●243	陰山 優花	明治大学	オリブ果実に発生したColletotrichum acutatumによるオリブ炭疽病(病原追加)	本橋慶一	東京農業大学
244	山田 憲吾	農研機構	Pseudopezalotiopsis chinensisによるチャ輪斑病(病原追加)	本橋慶一	東京農業大学
●245	芦田 晃	名古屋大学	カミヤツデなどの雑草に感染する多犯性Neofusicoccum parvumはマンゴー軸腐病やブドウ胴枯病の発生源となる	本橋慶一	東京農業大学
●246	富石 爽太	法政大学	ヤツデおよびブルーベリーに発生したNeofusicoccum parvum species complex による病害	本橋慶一	東京農業大学
05_診断・新病害 (Diagnoses/New diseases) 02_検出・診断 (Detection/Diagnoses)				座長	座長所属
247	山名 利一	北海道立総合研究機構	可搬型ハイパースペクトルカメラを用いたリンゴ腐らん病検出の取組	近藤亨	青森県産業技術センター
248	北林 奨也	農研機構	qPCRによる日本のアブラナ科作物産地の主要な5種類の土壌タイプにおけるアブラナ科根こぶ病菌の定量性の検証	近藤亨	青森県産業技術センター
●249	小澤 俊文	北海道大学	アズキに病気を引き起こす3種類の病原体を同時に検出するマルチプレックスLAMP法の開発	近藤亨	青森県産業技術センター